

子どもの風邪と全身麻酔

川口市立医療センター

麻酔科

うめだ
梅田

せいこ
聖子



これから気温が下がってくると風邪が流行する季節ですね。軽い風邪なら時間の短い手術であれば、全身麻酔をかけても問題ないと思われるかもしれませんが、特に子どもの場合、重大な合併症につながる可能性があります。

喉頭けいれん(声帯が閉じたまま固定してしまい、一時的に呼吸ができなくなる状態)や低酸素血症(体の中の酸素が不足した状態)、肺炎などの合併症になり重症化することもあります。

風邪をひいていたら「必ず手術は延期！」ということではありませんが、手術の内容や風邪の程度によっては、手術の延期をお願いすることもあります。

特に咳、痰、声のかすれ、鼻水、発熱、喉が腫れている、呼吸の音がおかしいなどの症状が複数あった場合は注意が必要です。風邪をひいている最中はもちろんのこと、風邪が治った後もしばらく喉は敏感な状態が続きますので、手術まで少なくとも2週間は空けて状態の回復を待つことが望ましいです。



家庭や仕事の都合もあり手術の日にちを再度調整することは大変とは思いますが、お子さんが安全に手術を受けられるようにご理解とご協力をよろしくお願いします。